

【2021年度版】  
エコアクション21  
環境経営レポート

対象期間：2021.11.1～2022.10.31

 共栄建設株式会社

発行日：2023.1.31

# 環境経営方針

当社は、建設現場及び本社内の事業活動から生ずる環境への影響を考慮し、環境との共生・調和を基本理念に地域社会に貢献するため、以下の項目を自主的かつ積極的に全社員で取り組み実行します。

1. 事業活動に伴う節電・省エネを推進し、二酸化炭素の排出量削減に努め、環境への負荷の軽減を図ります。
2. 建設副産物の抑制に努め、分別を積極的に行い、リサイクルの推進を行います。
3. 環境配慮型製品を、お客様に推奨・提案します。
4. 再生材の使用及びグリーン購入を、積極的に取り入れます。
5. 資材の適正適量発注を行い、資源の無駄な消費の削減に努めます。
6. 環境関連法規を遵守し、地域社会との共生を図ります。
7. 当社は、全社員で環境経営計画に取り組み、環境経営レポートを公表し、環境意識の向上を図ると共に、継続的な環境保全活動を行います。

2005年12月8日 制定

2018年11月1日 改定

共栄建設株式会社

代表取締役 坂東久雄

## ■ 事業概要

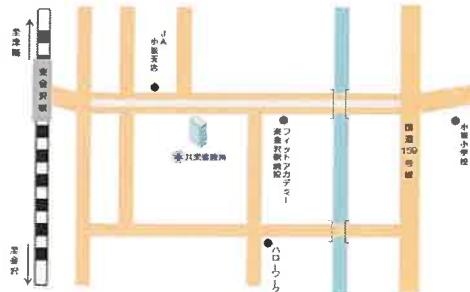
### 1) 事業所名及び代表者名

共栄建設株式会社  
代表取締役 坂東 久雄



### 2) 所在地

石川県金沢市小坂町西57番地1



### 3) 設立・創業

1960年6月

### 4) 環境管理責任者及び担当連絡先

環境管理責任者  
工事部長 山本 政宣  
連絡先  
TEL 076-252-7251  
FAX 076-251-6913

### 5) 事業活動

総合建築設計施工

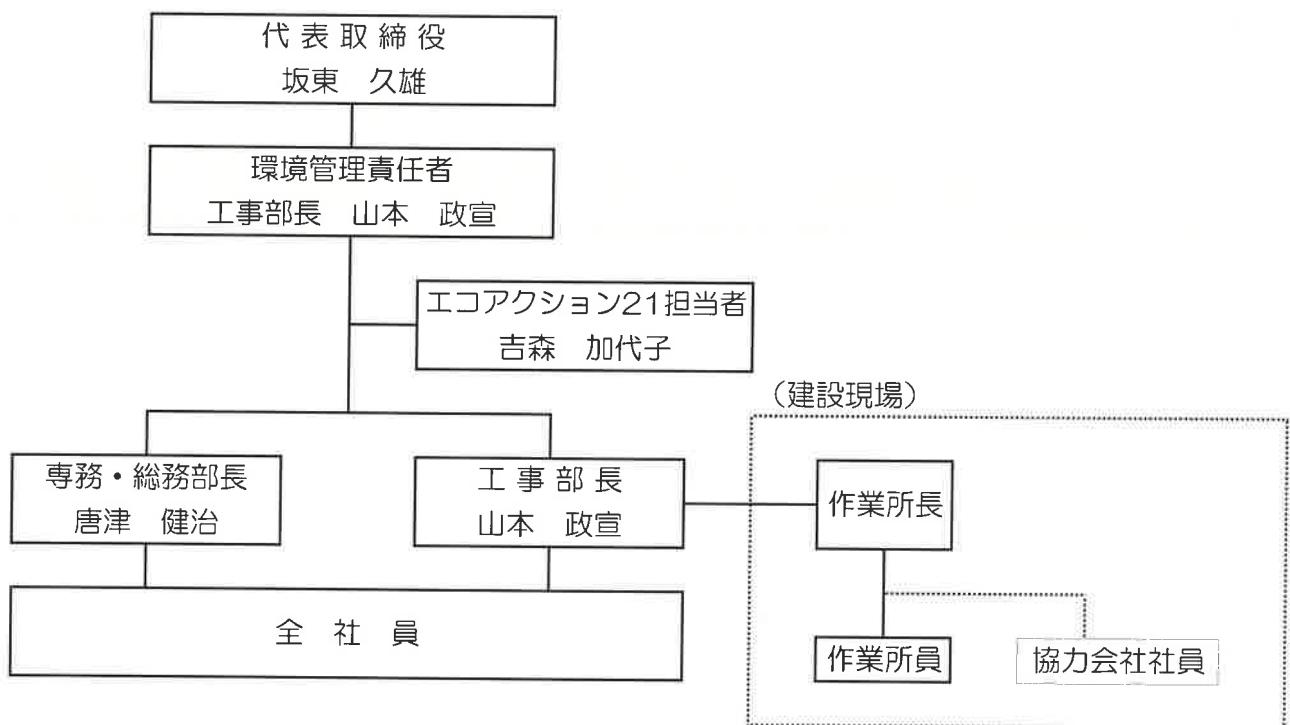
### 6) 事業の規模

活動規模	単位	2020年度	2021年度	2022年度
完成工事高	千円	666,279	426,633	467,755
従業員数	人	10	10	10
本社事務所 床面積	m <sup>2</sup>	439.69	439.69	439.69
資材倉庫床面積 (KSハイツ下)	m <sup>2</sup>	166.53	166.53	166.53

### 7) 認証・登録の対象組織、活動等

- ・認証登録範囲：共栄建設株式会社 本社
- ・活動 : 建築工事の設計及び施工
- ・対象期間 : 11月1日～10月31日（事業年度）

## 実施体制図



環境経営システム 役割・責任・権限表

代表取締役	環境経営方針の策定、見直し及び決定、社員への周知 環境管理責任者の任命 環境経営実施に必要な資源（人・もの・金）の整備 代表者による全体の評価と見直しの実施
環境管理責任者	環境経営システムの構築、運用、維持 環境関連法規の取りまとめと遵守状況の確認 環境経営目標・環境経営計画の作成 環境実施体制の構築 環境経営計画の推進 環境経営目標の達成状況の確認 環境経営計画の実施状況の確認 社員に対する教育訓練の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 代表者に状況の報告 環境経営レポートの承認
エコアクション21 担当者	環境経営の実績集計 各種文書、記録の作成・管理 環境経営レポートの作成・管理
作業所長	環境管理責任者に状況の報告 協力会社社員への指示・指導
全社員	環境経営方針、環境経営計画を理解し環境への取組実施

## ■ 環境経営目標

代表者による見直しを受け、中長期の環境経営目標を策定した。

項目		単位	基準値	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	購入電力	kg-CO <sub>2</sub> /年	事務所	9,818	9,720	9,622
	現 場			実績値の把握		
	灯油（事務所）		627	621	614	608
	液化石油ガス（LPG）（事務所）		70	69	69	68
	化石燃料			実績値の把握		
	灯油（現場）			実績値の把握		
水使用量	自動車燃料（現場）			実績値の把握		
	事務所	m <sup>3</sup> /年	160	158	157	155
	現 場			実績値の把握		
産業廃棄物リサイクル率		%	(81)	実績値の把握		
一般廃棄物排出量		kg/年	369	365	362	358

購入電力排出係数：0.593 kg-CO<sub>2</sub>/kWh

( )は過去の実績あり

※基準値は、2020年度の実績値とし、1年毎に1%削減していくことを目標とする。

但し購入電力排出係数は、上記の係数で算定した。

※建設現場においては、数値による目標設定が難しいため、

環境活動計画を推進することとし、実績値の把握のみとする。

産業廃棄物リサイクル率については実績値の把握のみとする。

※化学物質使用量削減については、使用量が少量のため、環境経営計画を推進していく。

※自らが施工する製品については、数値による目標設定が難しいため、環境経営計画を推進していく。

## ■ 環境経営目標の達成状況

- ・2021年度の環境経営目標の達成状況は次の表のとおりです。

項目		単位	基準値 (過去3年間の平均値)	2020年度 実績値	2021年度 実績値	2022年度 実績値
二酸化炭素排出量	購入電力	事務所	kg-CO <sub>2</sub> /年	9,818	9,818	9,465
				実績値の把握		
		現場		627	627	1,121
		灯油（事務所）		70	70	102
		液化石油ガス（LPG） (事務所)		実績値の把握		152
	化石燃料	灯油（現場）		実績値の把握		
水使用量		自動車燃料（現場）		実績値の把握		
		事務所	m <sup>3</sup> /年	160	160	184
		現場		実績値の把握		
産業廃棄物リサイクル率		%	(81)	実績値の把握		
一般廃棄物排出量		kg/年	369	369	366	366

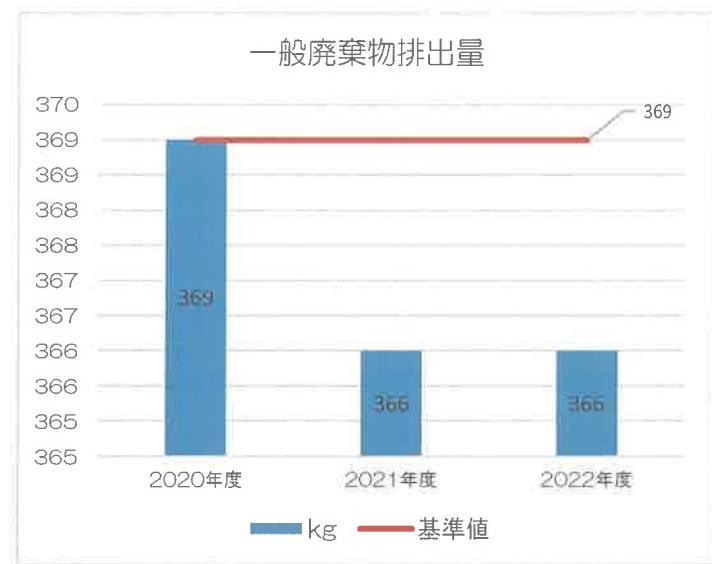
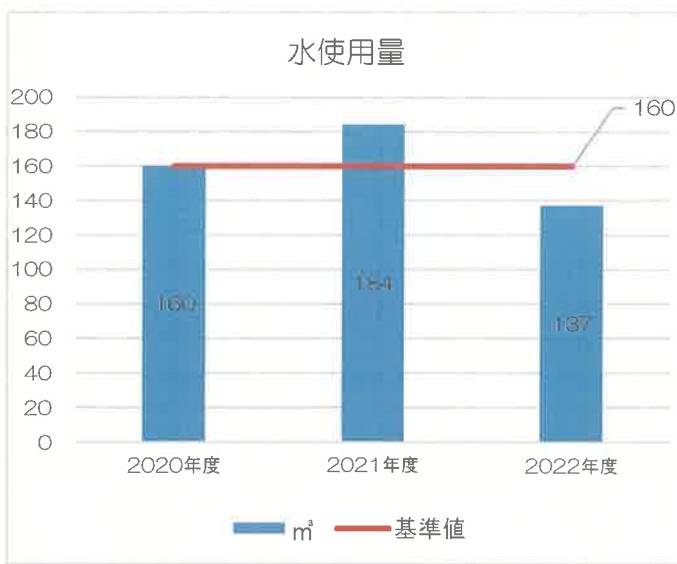
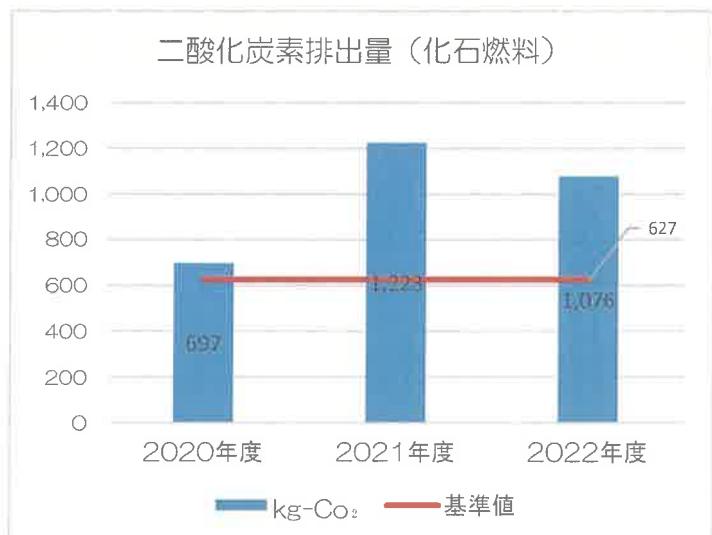
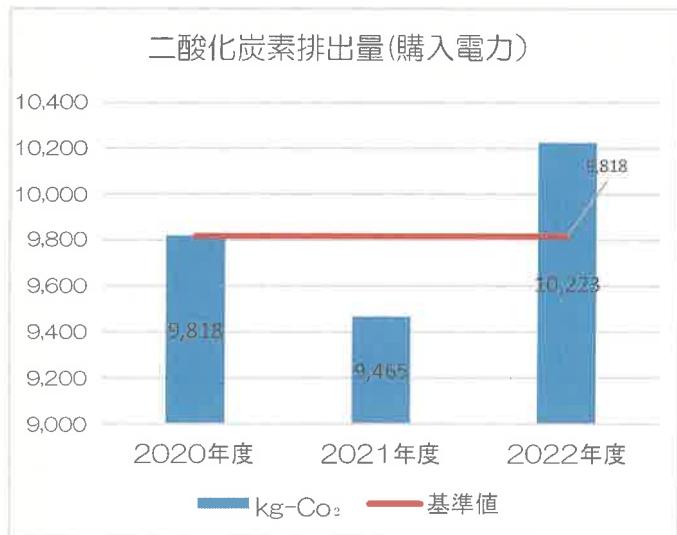
購入電力排出係数 : 0.593 kg-CO<sub>2</sub>/kWh

※建設現場においては、数値による目標設定が難しいため、環境活動計画を推進することとし、実績値の把握のみとする。

- ・建設現場での資源等使用量は下表のとおりです。

種類	単位	2020年度 実績値	2021年度 実績値	2022年度 実績値
二酸化炭素排出量	Kg-Co <sub>2</sub>	1,415	1,617	5,710
生コンクリート	t /年	915	32	
アスファルト・コンクリート	t /年	15		
碎石	m <sup>3</sup> /年	54		
土砂	t /年			
木材	t /年	1	2	
水使用量	m <sup>3</sup> /年	289	106	309

・事務所での過去3年間の推移グラフ（集計）



## ■ 環境経営計画とその実施状況

環境経営目標を達成するための環境経営計画と、その実施状況は次の表のとおりです。

期間：2021年11月1日～2022年10月31日

目標項目	具体的な取組内容	実施状況		評価	担当者
		上半期	下半期		
二酸化炭素排出量の削減	【電気使用量の削減】 電灯は、必要な時のみつける（昼休み時は消灯する）等して、節電の徹底を図る。	◎	◎	計画どおり取り組めた	全社員
	空調設備については、冬の暖房時は室内温度（床上700前後）20度、夏の冷房時は、室内温度（床上700前後）28度とする。	◎	◎	計画どおり取り組めた	
	【灯油使用量の削減】 空調設備は、退社予定20分前にoffにする等して節燃に努める。	△	◎	業務に支障のない範囲で努力	
	【自動車燃料・軽油使用量の削減】※ 自動車燃料の効率化を図るために、又、無用な排気ガスを排出しない為にもアイドリング・ムラのある運転・急発進、急加速等無理な運転をしない。	◎	◎		
水使用量の削減※	蛇口の閉め忘れ防止を徹底する。	◎	◎		工事担当
	水道配管からの漏水を定期的に点検する。	◎	◎		
	車両等の洗車は、バケツを利用するなどして、不要な水の流出をなくする等、各人が意識して節水に心掛ける。	◎	◎		
	トイレの水を無駄遣いしない。	◎	◎		
産業廃棄物リサイクル率※	積極的分別によりリサイクル化推進に努める。	◎	◎		工事担当
一般廃棄物排出量の削減	詰め替え可能な容器や、再使用できる製品を購入し使用する。	◎	◎		全社員
	カタログ等の更新時には、出来るだけ古いものはそのメーカー等に持って帰ってもらう。	◎	◎		
	分別を徹底する。	◎	◎		
環境配慮型製品の提案	エコキュー・省エネ型機器・LED等を、お客様に推奨・提案する。	◎	◎	計画どおり取り組めた	工事担当
グリーン購入の推進	両面印刷、両面コピーに心掛ける。	◎	◎		全社員
	エコマーク商品、再生紙使用品の利用を積極的に取り入れる。	◎	◎		
	再生材の積極的使用に努める。※	◎	◎		
資源等使用量の削減※	該当工事に関して、生コンクリート・アスファルト・木材・土砂等の使用量を把握する。	◎	◎		工事担当
	資材の適正適量発注に努める。	◎	◎		
化学物質使用の適正管理※	施工段階で使用する製品等に含まれる化学物質（接着剤、防水剤、塗料等）が、適正に管理・使用されるよう確認する。	◎	◎		環境管理責任者
地域社会への貢献	建設現場では、新規入場者教育の実施に合わせて教育訓練を行う。※	◎	◎		全社員
	全社員に、環境への取り組みを絶えず意識し実践出来るよう教育訓練する。	◎	◎		
	環境関連法規最新情報を入手し、遵守する。※	◎	◎		
	クリーンキャンペーンを行い、地域社会に貢献する。	×		コロナウイルスの影響で実施できなかった	

※現場で特に取組を推進する項目 ◎よく出来た ○ほぼ出来た △あまり出来なかつた ×全く出来なかつた

## ■ 環境経営目標、環境経営計画の取組結果の評価

---

### 1.二酸化炭素排出量

#### 【 購入電力 】

年間を通して購入電力の使用量は、増えてしまった。コロナウィルス対策として空気清浄機の稼働、ソーシャルディスタンスとして普段使っていない3階で仕事を行った結果前年度と比較すると増えてしまった。今後も引き続き努力していきたい。

#### 【 化石燃料 】

灯油の使用量について通常エアコンと石油ストーブを併用して使用しているが冬の寒波の影響で灯油の使用量が増えてしまった。  
液化石油ガスについてもコロナウィルス対策として、手洗いうがいの徹底をしたため使用量が増えてしまった。

### 2.水使用量

水の使用量については、節水に努めた結果、目標値を達成ことができた。  
これからも節水に努め、なおかつ コロナ対策で手洗いうがいも徹底していきたいと思います。

### 3.一般廃棄物排出量

一般廃棄物排出量については、積極的な分別を行ったため、総排出量を抑えることができた。引き続き努力していきたいと思います。

### 4.地域社会への貢献

毎年行っている当社社員及び協力会社社員で行っている、地域清掃は、コロナウィルスの影響で実施できなかった。

### ■次年度（2023年度）の取組内容

2023年度の取組目標を達成する為、2022年度の取組内容を継続する。

## ■ 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規	遵守すべき主な内容	確認事項	遵守評価確認	
			5/24	11/30
・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃掃法)	・産業廃棄物の保管施設	保管場所表示・保管基準の確認	○	○
	・マニフェストの交付、電子マニフェストの登録	マニフェストの管理		
	・廃棄物処理業者との委託契約	許可証の有効期限の確認		
	・マニフェスト交付状況の報告（毎年6月末まで）	書類の控で確認		
	・産廃自社運搬時の書類の携行	書類の控で確認		
	・現場に掲示を出す	現場責任者に確認		
・建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	・発注者に計画について説明	説明書の控で確認	○	該当なし
	・下請業者に事前届出事項を告知	告知書の控で確認		
	・建設副産物の分別解体の実施	マニフェストで確認		
	・発生した特定建設資材廃棄物を再資源化	分別解体計画書及びマニフェストで確認		
	・工事現場に技術管理者※を配置	組織図及び資格一覧表で確認		
	・規定事項を記載した表示を掲示	現場責任者に確認		
	・発注者に完了の報告	再資源化等報告書控で確認		
	・実施状況を記録、保存	再資源化等報告書控で確認 電子マニフェストでの管理		
	・石綿の使用の有無についての事前調査	アスベスト有無に関する事前調査結果報告書で確認		
・大気汚染防止法 (石綿（アスベスト）に係る条項)	・発注者への調査結果の書面での説明	現場目視にて確認・現場写真で確認	○	該当なし
	・解体等工事の場所における調査結果等の掲示	現場目視にて確認 作業日毎のチェックシートで確認 作業報告書で確認		
	・特定粉じん排出等作業に係る作業基準の遵守	届出書の控で確認		
・騒音規制法	・特定建設作業における届出（作業開始7日前まで）	届出書の控で確認	該当なし	該当なし
	・特定建設作業の騒音の規制基準を遵守	作業場所の騒音規制値及び 使用機械が低騒音タイプの確認		
・振動規制法	・特定建設作業における届出（作業開始7日前まで）	届出書の控で確認	該当なし	該当なし
	・特定建設作業の振動の規制基準を遵守	作業場所の振動規制値及び使用機械の確認		
・特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	・長期間使用して廃棄物を抑制 ・排出する際は、適切に引き渡し料金を支払	電気冷蔵庫・エアコン・ テレビ・洗濯機	該当なし	該当なし
・資源の有効な利用の促進に関する法律（リサイクル法）	・使用済パソコンなどを適正かつ循環的に利用	パソコン	廃棄なし	廃棄なし
・使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）	・使用済自動車を引取業者に引渡 ・車検又は買換え時リサイクル料負担	自動車	廃棄車なし	廃棄車なし
・フロン排出抑制法	・定期点検実施（7.5kW～50kW：3年に1回）	業務用エアコン	○	該当なし
	・簡易点検（～7.5kW：3ヶ月に1回）			

※技術管理者とは、主任技術者の資格を有する者

○…遵守されている

環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反は過去3年間ありませんでした。又、関係機関より違反についての指摘もありませんでした。  
訴訟等も同様に1件もありませんでした。

## ■代表者による全体の評価と見直し

環境経営システムは有効に機能し、環境への取組は適切に実施されている。

### 1. 前回の指示への取組結果

緊急事態の想定と対応策に塗料等への引火による火災の発生を追加した。

### 2. 環境経営目標の達成状況

購入電力の使用量は、基準値を超えて増えてしまった。

水の使用量は、目標を達成できた。

産業廃棄物のリサイクル率は、実績値の把握のみとし、リサイクル率81%を目標としました。

一般廃棄物は、積極的に分別を行ったため目標は、達成できた。

### 3. 環境経営計画の実施及び運用状況

環境経営目標達成のための環境経営計画は、ほぼ実施出来ている。

今後も継続していきたい。

### 4. 環境関連法規等の遵守状況

該当する環境関連法規は、遵守されている。

### 5. 外部からの環境に関する苦情や要望等

公共・民間工事に伴い近隣住民への説明会を行った。外部からの苦情等は、無かった。

方針・目標・環境経営計画・その他の環境経営システム変更の必要性		
項目	必要性	変更の方 向
[環境経営方針]	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
[環境経営目標・環境経営計画]	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	期間満了の為、環境経営目標（中長期）の見直しをする。
実施体制	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
[その他の環境経営システムの各要素]	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	

2022年12月19日  
代表取締役 坂東 久雄